

高校生ものづくりコンテスト

- 測量部門の審査員として -

外村隆臣

環境建設技術系

1 はじめに

高校生ものづくりコンテストは、工業教育を通して有意な人材を育成するため実施され、ものづくりへの意識の高揚と技術・技能の習熟向上、工業教育の活性化を図ることを目的において、毎年10月に全国大会が開催され、「高校生技能五輪」、「ものづくり甲子園」などとも呼ばれる。出場する高校生はこの全国大会を目指し、日々、工業技術や技能を磨いている。

今回は、第8回熊本県高校生ものづくりコンテストおよび、第10回高校生ものづくりコンテスト九州大会の測量部門の審査員として参加することができたのでその報告をしたい。

2 内容

熊本県大会の競技種目は旋盤作業、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量。九州大会は県大会の種目に自動車整備部門が加わっている。両大会とも玉名工業高等学校で開催された。担当した測量部門は、外業と内業があり、採点は作業時間、誤差、計算の正確さ等を全国大会の採点基準に準じて行う。九州大会のプログラムを表に示す。県大会は2日目に開会式が行われるが、スケジュールは九州大会と基本的に同じである。

九州大会プログラム（会場：玉名工業高等学校）

第1日目 平成23年7月16日(土)	
10:30～11:00	受付
11:00～12:00	総合開会式
13:00～16:30	打合せ及び準備（競技説明、抽選、ゼッケン配布、会場下見）
第2日目 平成23年7月17日(日)	
8:30～9:00	受付
9:00～9:30	準備
9:30～10:10	外業 班
10:30～11:10	外業 班
11:25～12:00	内業（計算書作成）
12:00～14:20	審査・昼食
14:30～15:00	表彰式及び閉会式

3 まとめ

高校生ものづくりコンテストの存在を始めて知った。審査員は主に民間企業の技術者で、大学関係者は私だけであったが、審査員として参加でき、良い経験ができた。練習を積んできた高校生の作業の手際の良さを見て非常に感心した。今後も機会があればこのようなイベントに是非参加したい。